

領域	統合分野	授業科目	在宅看護論Ⅱ	単位(授業時間/時間数)	1(28/30)
開講年次	2年次	開講時期	前期	後期	通年
担当講師名	専任教員	講師所属	福岡水巻看護助産学校		
<p>授業のねらい</p> <p>在宅看護では、療養者の日常生活を「生活行為」として総合的にみていくことが必要であり、療養者と家族が「生活する」ことを支えていくことが重要となる。在宅の環境は個別性に富む。療養者の疾患や障害も多様である中、個々に求められる必要な看護技術を提供していくことになる。</p> <p>在宅看護でよく実践される日常生活援助や医療技術とそれに伴う看護を教授する。</p> <p>授業目標</p> <p>在宅での基本的な生活援助技術や医療技術に伴う看護を学ぶ。</p> <p>授業概要</p> <p>1. 在宅における援助技術</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 食の援助 2) 清潔の援助 3) 移動の援助 4) 排泄の援助 5) 呼吸の援助 6) 感染予防のための援助 7) 体位を安全に保つ援助 8) 医療的援助と技術 <p style="padding-left: 40px;">服薬管理、腹膜透析の援助</p> <p><演習></p> <p style="padding-left: 40px;">食の援助・移動の援助・ストーマケア</p>					
<p>授業の進め方</p> <p>講義、演習(実習室)</p>					
<p>教科書</p> <p>ナーシング・グラフィカ 在宅看護論 地域療養を支えるケア(メディカ出版)</p> <p>写真でわかる訪問看護(インターメディカ)</p> <p>参考図書</p> <p>在宅看護論(医学書院)</p>					
<p>評価方法</p> <p>終講時 客観式テスト・出席状況・演習・グループワーク参加状況の総合評価(100点)</p> <p>試験時間は時間数に含む。</p>					